

2019年10月15日

## 2019年度血小板委員会活動報告書

血小板委員会委員:石黒 精(委員長), 今泉益栄, 内山 徹, 國島伸治, 小林尚明,  
笹原洋二, 東川正宗, 宮川義隆, 森 麻希子 (五十音順)  
オブザーバー:高橋幸博(前委員長)

報告事項:

### ① 先天性血小板異常症の中央診断と登録

AMED の研究費を受けて, 新しく国立成育医療研究センターを中心とした体制を構築し, 先天性血小板異常症の診断, レジストリを2018年9月から開始した。登録と解析は順調に進んでいる。

### ② 小児難治性 ITP 診療ガイド 2019

小児血液・がん学会雑誌 56(1): 61-68, 2019 に委員会報告として掲載した。大いに活用していただきたい。

### ③ 医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議宛て, 公知性と適応拡大に向けての要望書

リツキシマブ, ロミプロスチム, エルトロンボパグについて, 医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議において公知性と適応拡大に向けて検討してもらう要望書を厚労省に提出した。

### ④ 新規小児 ITP 診療ガイドライン

Minds に準拠して, CQ と網羅的文献検索に基づいた新規小児 ITP 診療ガイドラインの作成を開始した。難治性に限定せず, first line も含めた CQ を設ける。

### ⑤ 疾患別移行期支援ガイド ITP

日本小児科学会移行期支援委員会の要望に応じて, 疾患別移行期支援ガイド ITP を執筆し, 提出した。

### ⑥ ITP 治療の国際標準化と免疫グロブリン 1g/kg 投与

使用実態の調査結果から, 小児 ITP 患者の免疫グロブリン治療には 1g/kg 投与が多く選択されていたことが判明した。調査結果について論文化を進めることにより, 1g/kg 投与法を含めた添付文書改定を目指す。

文責

血小板委員会

委員長 石黒 精